

料金別納郵便



ニッシン債権回収株式会社 株主通信

第8期 第2四半期報告書 平成20年4月1日 ▶ 平成20年9月30日

NISSIN SERVICER IR PERSONALITY

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社

〒135-8722

同事務取扱場所 東京都江東区佐賀1丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL. 0120-288-324

1 開く

濡れている場合はよく乾かしてからめくってください。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、サブプライム問題に端を発した世界的な金融市場混乱の長期化、また原油、原材料価格の高騰などにより、景気の後退傾向は強まり、先行きの不透明感は一層増しております。

このような状況のもと、当社グループにおきましても金融市場の信用収縮の長期化、不動産市況の著しい低迷及び流動性の低下等の影響から、資金調達環境が悪化しており、また債権管理回収業務のうち特に不動産担保付債権の回収並びに連結子会社で行う不動産業務が低迷するなど、事業環境は極めて厳しい状況が続いております。

当社は、全社一丸となってこの局面を乗り越えるべく努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
ごうだ ますみ
合田 益己

会社の概要 (平成20年9月30日現在)

商号	ニッシン債権回収株式会社 (NISSIN SERVICER CO., LTD.)
証券コード	8426
設立	平成13年7月11日
本社	東京都新宿区西新宿1丁目25番1号新宿センタービル8F TEL.03-5326-3971 (代表)
営業許可	平成13年10月25日 (法務大臣許可番号第58号)
資本金	17億3,632万円
従業員数	80名

第2四半期営業の概況

営業収益につきましては、資金調達環境の悪化に伴い債権買取を抑制していることから回収高が伸長しなかったこと及び不動産担保付債権の回収高の低下等により、買取債権回収高は4,805百万円（前年同期比61.8%減）、不動産の流動性低下による物件売却の遅延から不動産売上高は2,483百万円（同29.4%減）となり、その他の収益1,032百万円（同72.9%減）を合わせ、合計では8,322百万円（同58.2%減）となりました。

営業費用につきましては、買取債権回収高に伴う債権買取原価3,368百万円（同62.5%減）、不動産市況の著しい低迷を受け買取不動産評価損3,396百万円（同-%）を計上したことから、同評価損を含む不動産売上原価5,875百万円（同89.7%増）となり、その他の原価103百万円（同80.0%増）を合わせ、合計では9,348百万円（同22.9%減）となりました。この結果、営業総損失は△1,025百万円（同-%）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、主に給料手当283百万円（同15.4%減）、買取債権に伴う貸倒関連費用1,325百万円等（同46.7%増）を計上し、合計2,334百万円（同14.2%減）となりました。この結果、営業損失は△3,360百万円（同-%）となりました。

営業外収益は、57百万円（同148.4%増）となり、営業外費用につきましては、主に資金調達に伴う支払利息806百万円等（同32.3%増）により、合計で1,005百万円（同51.8%増）となりました。この結果、経常損失は△4,308百万円（同-%）となりました。

また、特別利益23百万円（同266.4%増）、特別損失149百万円（同-%）、繰延税金資産の全額取り崩しによる法人税等調整額（損失）1,657百万円（同-%）を含む法人税等関連費用1,666百万円（同13.5%減）、少数株主利益△230百万円（同504.7%減）の計上により、四半期純損失は△5,871百万円（同-%）となりました。

配当予想修正

当社は、利益配当の基本方針として連結当期純利益の30%を目安とした利益配当に努めることとしておりますが、四半期純損失を計上する結果となったことから、株主の皆様には大変申し訳なく存じますが、第2四半期末につきましては無配とさせていただきます。なお、期末配当予想につきましては、通期業績予想とあわせて公表させていただく予定です。

今期の主な取り組み

【2008年7月以降の役員報酬の削減】

- ・ 取締役合計 月額14.3%減 ・ 監査役合計 月額8.1%減
(代表取締役は月額20.0%減)

【組織体制のスリム化】

- ・ 従業員等（臨時従業員、顧問等含む）
2008年3月末 137名 2008年9月末 90名 47名減少

今後の方針

【収益構造の転換】

- ・ 回収受託業務を中心としたフィービジネスの拡大による
資金効率の向上

【財務基盤の安定化】

- ・ 親会社NISグループへの更なる金融支援の要請
- ・ 親会社の支援を基に、取引金融機関への資金調達依頼

【経営効率化】

- ・ 事業規模に見合ったスリムな組織体制の構築

■ 要約連結貸借対照表

	前連結会計年度末(ご参考) (平成20年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)
資産の部		
流動資産	50,835	37,530
固定資産	5,882	3,890
資産合計	56,717	41,421
負債の部		
流動負債	36,020	32,211
固定負債	10,141	4,873
負債合計	46,162	37,085
純資産の部		
株主資本	8,945	3,074
評価・換算差額等	△23	△58
新株予約権	102	78
少数株主持分	1,531	1,241
純資産合計	10,555	4,336
負債純資産合計	56,717	41,421

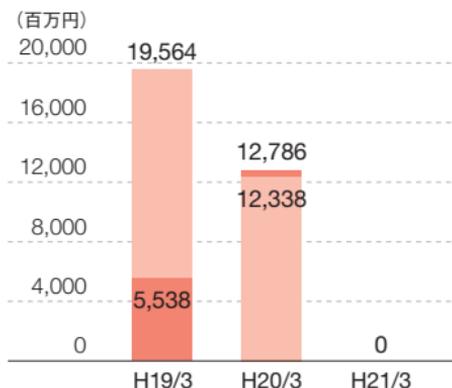
■ 要約連結損益計算書

	前中間連結会計期間(ご参考) (平成19年4月1日~平成19年9月30日)	当第2四半期連結結果計期間 (平成20年4月1日~平成20年9月30日)
営業収益	19,922	8,322
営業費用	12,127	9,348
営業総利益又は営業総損失(△)	7,795	△1,025
販売費及び一般管理費	2,719	2,334
営業利益又は営業損失(△)	5,075	△3,360
営業外収益	22	57
営業外費用	662	1,005
経常利益又は経常損失(△)	4,436	△4,308
特別利益	6	23
特別損失	—	149
税金等調整前中間純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,442	△4,434
法人税、住民税及び事業税	2,329	9
法人税等調整額	△402	1,657
少数株主利益又は少数株主損失(△)	56	△230
中間純利益又は四半期純損失(△)	2,458	△5,871

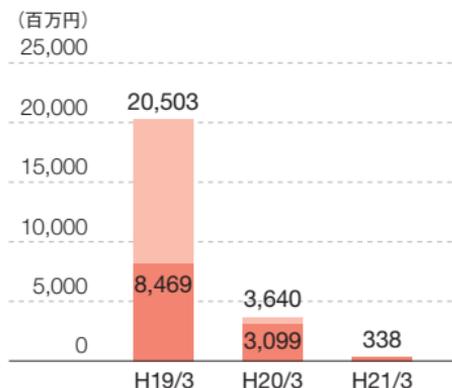
■ 要約連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間(ご参考) (平成19年4月1日~平成19年9月30日)	当第2四半期連結結果計期間 (平成20年4月1日~平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,734	4,617
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,272	1,703
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,177	△7,109
現金及び現金同等物の減少額	△1,639	△787
現金及び現金同等物の期首残高	5,390	1,618
現金及び現金同等物の四半期末(中間期末)残高	3,750	830

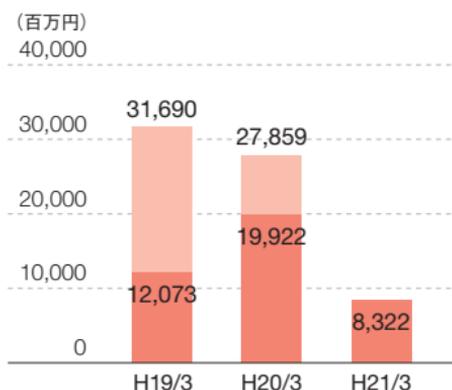
■ 債権買取額



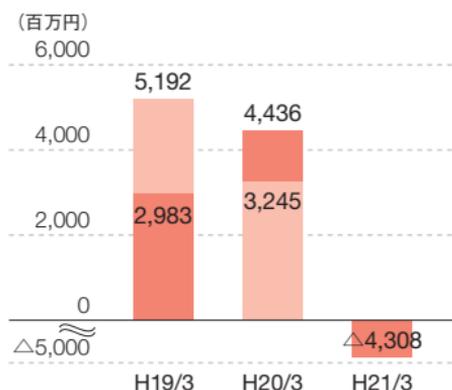
■ 不動産買取額



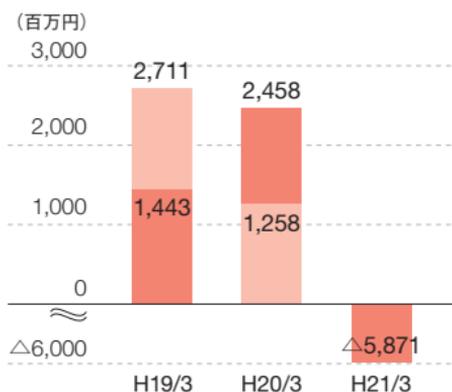
■ 連結営業収益



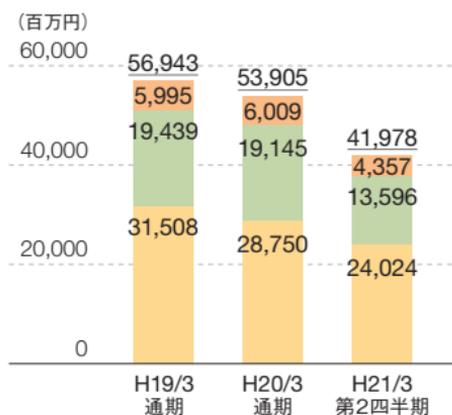
■ 連結経常利益



■ 連結四半期(当期)純利益



■ 営業資産の内訳



■ 通期 ■ 第2四半期累計 / 中間期 ■ 買取債権 ■ 買取不動産 ■ 組合出資等